

学食管理システム

Produced by 学食を美味しく食べ隊

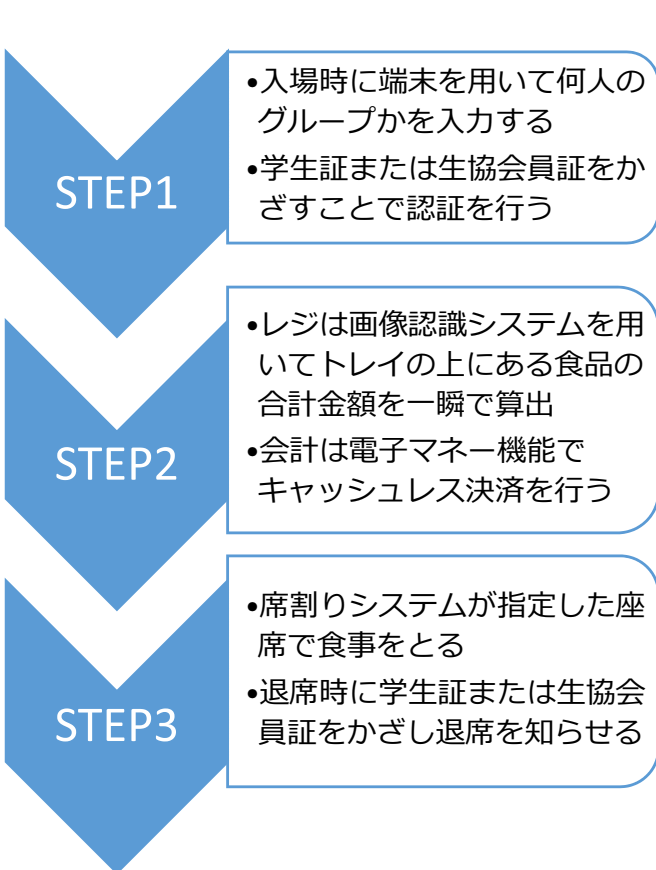
□ 動機・背景

九工大には1日に一度争う時間がある。それは昼食の時間である。学生、教職員合計で3500人程度いる戸畑キャンパスに食事を提供するの学生生協の食堂である。しかし席数に限りがあり、昼休みの1時間は常に混み合っている。

そこで我々は現代のテクノロジーを活用することで生協食堂の混雑を解消し、美味しいご飯を食べられるようにすることを目的とした。

□ 概要

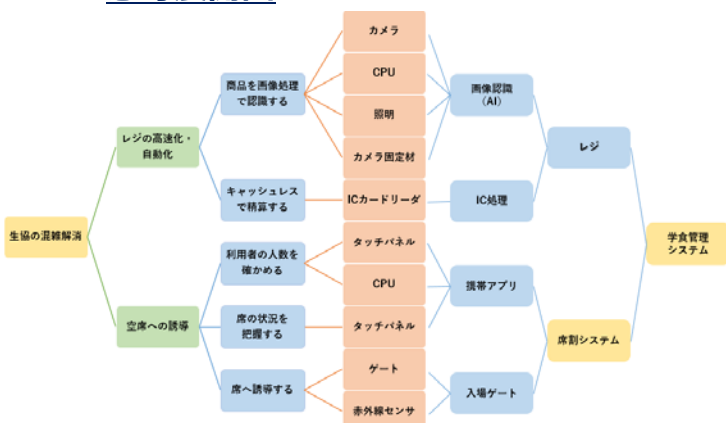
提案する学食管理システムの手順は以下の通りである。



このシステムを運用するにあたり画像認識の部分に人工知能を組み込んでいる。具体的には、配膳時の画像を事前に学習させているため、会計時に瞬時に商品を判別できる。配膳時にそれぞれ色・形が異なるお皿に盛り付ければこの画像認識の判断は容易である。

また、スマートフォン用のアプリケーションを作成し、そこにメニューや現在の混雑状況、購入履歴、カードの残高等を表示させることで利便性の向上を図る。

□ 思考展開図



□ 動機・背景

今回考案したシステムは特別なものではなく近現代ではありふれたものばかりであり、混雑を解消することはできると考えられる。しかし、生協食堂にはみんなと一緒に話しながら食べる、テスト期間にはテスト勉強を行う、近所の人憩いの場の一つでもあるという役割もあり、その役割を今回のシステムでは満足できないという懸念がある。実際に運用する場合には時間帯を限定したり、席の管理の部分の条件を少し緩和したりするといった工夫が必要と考えられる。